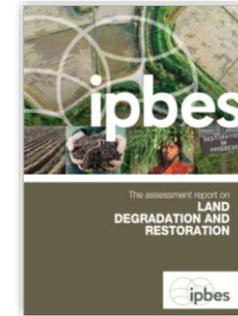


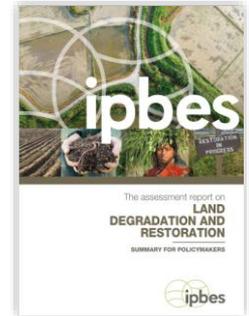
# IPBES土地劣化と再生に関する評価報告書SPMの概要

## 背景・目的

- ・土地劣化と再生に係る政策のための知識基盤強化
- ・科学的知見を含む約4,000の情報源の分析、約3年にわたる評価作業
- ・世界のすべての陸域とバイオームを網羅
- ・執筆者98名とキャリアフェロー7名、執筆補助者79名が関与
- ・IPBES第6回総会(2018年3月)にて承認



報告書



政策決定者向け要約 (SPM)

## 内 容 (主要なメッセージとバックグラウンド)

### A 土地劣化の現状・予測・対策

- ・土地劣化は陸地の至る所で発生し、**32億人**に悪影響
- ・世界の**年間総生産の10%**程度の経済的損失
- ・人間の影響が全陸地面積の**90%以上**に拡大(2050年迄)
- ・対策への資金投入は経済的にも合理的
- ・土地劣化対策は人々の福利を保証するための緊急課題、**SDGsの達成に不可欠**

### B 要因、行動・意識・ガバナンス

- ・緊急な協調行動が取られない限り土地劣化は悪化
- ・**土地劣化の要因**は複合的、主として**大量消費、耕作地/放牧地の急速拡大**と持続不可能な管理
- ・土地劣化は気候変動の大きな原因
- ・気候変動により土地劣化の影響はさらに悪化
- ・意識の欠如が行動を妨げる障害
- ・制度、政策、ガバナンスは究極原因に対処できていない
- ・劣化後の再生よりも劣化前の防止が常に望ましい

### C 土地劣化の防止・削減・反転に向けて重要、必要なこと

- ・緊急かつ大胆な取組の変更
- ・既存の**多国間環境協定**(行動の枠組みを提供)
- ・消費者・政策決定者の**教育と意識啓発**
- ・持続的な生産・消費を促す**政策課題の調整**
- ・**市民社会**の役割
- ・持続可能な土地管理のためのインセンティブ
- ・課題を統合するランドスケープ全体の手法
- ・参加型手法
- ・都市化による環境影響の抑制措置
- ・**他分野との整合性**  
→より効果的な対処へ
- ・最優先の研究領域(土地劣化の原因究明等)

※環境省はSPM(英語版)を日本語に翻訳し、ウェブ上で公開している。